

中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第6回)開催結果の概要

1. 日時：平成22年9月14日（火）10:00～12:00
2. 場所：合同庁舎2号館8階中西東会議室
3. 出席委員：第1部会 会長 米倉 亜州夫 広島大学名誉教授
 第1部会 委員 戸田 常一 広島大学大学院社会科学研究所
 第1部会 委員 福田 健吉 (株)日本政策投資銀行 中国支店長

4. 議事次第：

- (1) 審査対象工事の全体説明
 審査対象工事件数・・・全3件
 <件数の内訳>
 ・技術提案の審査（入札前審査・・・3件）

表1【標準型（I型）】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
PC	-	-	-	-	1	1
計	0	0	0	1	1	2

表2【簡易型】

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
建築	-	1	-	-	-	1
計	0	0	0	1	0	1

- (2) 審査対象業務の全体説明
 1) 審査対象業務件数・・・全7件
 <件数の内訳>
 ・評価項目・加算点の審査（公示前審査・・・2件）

表3 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査検討	0	0	1
工事監理	0	1	1
計	0	1	1

・評価項目・加算点の審査（特定前審査・・・5件）

表4 総合評価方式

工種	公募型	標準型
調査検討	0	1
計	0	1

表5 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
調査検討	0	3	0
実施設計等	0	0	1
計	0	3	1

5. 主な意見の概要

（工事審査）

- 各技術提案のテーマにおいて視点を設ける場合と設けない場合があるが、この考え方は。
→技術提案がある一部分に偏るのを防止するために設定する場合があります、工事特性等で判断している。
今後も、当該委員会で視点設定に関して助言を頂きたい。

（業務審査）

- 環境モニタリング等の業務はデータの継続性が重要なので、単年度ごと発注するのではなく、複数年度業務として発注すべきではないか。
→単年度で区切ったとしても、必ずしも業務実施が不可能ではないとの判断により、単年度ごとの発注としているが、同種・類似業務の実績を評価することにより、継続性にも配慮している。

その他、評価手法及び評価に関する助言を頂く

日時：平成22年9月14日（火）10：00～
場所：合同庁舎2号館 8階議室

平成22年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第6回)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

【工事関係審査】

- 1) 審査対象工事の全体説明
- 2) 審査対象工事の個別説明

【業務関係審査】

- 3) 審査対象業務の全体説明
- 4) 審査対象業務の個別説明

4. 閉 会